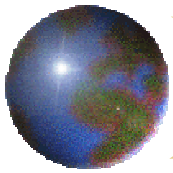


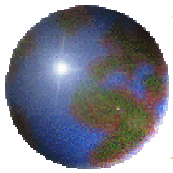
*ICANNマラケシュ会合
政府諮問委員会報告
(平成18年6月23日～6月29日)*

平成18年7月19日
総務省データ通信課
系 将之



目次

	頁
1. G A Cメンバー構成とG A C事務局	3
2. Whois(ドメイン名等登録者情報公開システム)関連	4
3. IPv6アドレス	5
4. 米国政府意見募集	6
5. GAC議長改選	7



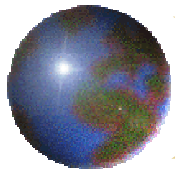
1. GACメンバー構成とGAC事務局

GACメンバー構成

- ・ 41カ国及び4国際機関から約70名が参加
- ・ 現在、計109メンバーが登録
 - 政府: 100カ国
 - 国際機関(オブザーバー): 9機関

GAC運営

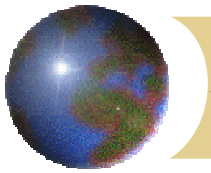
- 現在欧州委員会が行っている事務局機能を、7月1日付でインド政府に移管。
- 長期的な事務局の在り方は引き続き検討
- 今回会合での合意事項
 - GACとICANN理事会の意志疎通改善を図るための手続、GACの事務手続細則を合意。
 - ICANNへの途上国の参加を促すため、ICANN理事会による途上国政府関係者向けセミナー開催を承認。



2. Whois関連

Whois関連

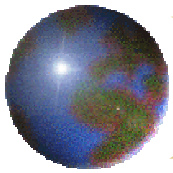
- Whois利用について消費者保護の観点から我が国発表。スパム対策の観点から蘭OPTA・Fonteiijn次官、米FTC・Leibowitsコミッショナーが発表。
- Whoisの目的について、GAC-GNSOのjoint sessionを開催。GNSO側から
 - 1) ドメイン名システム運営のための技術的責任者の連絡先情報を公開
 - 2) (犯罪捜査、知的所有権保護等の観点も含め) 技術的 / 法的責任者の連絡先情報を公開の2案のうち1で合意したこと、年末に向け引き続き検討していく旨説明。
- 上記2案のいずれにも懸念が示され、Whoisの有用性とプライバシー保護に関し、どうバランスを取るかを考慮し次回会合に向け議論が進められることとなった。
- GACとして、次回会合で見解を作成予定。



3. IPv6アドレス

IPv6アドレス

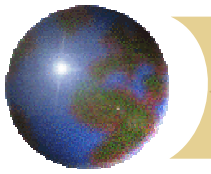
- ・ GACにおいてIPv6に関する問題を検討するWGを我が国が議事。
- ・ 今回会合では、GACとASO・NROの共同会議を開催。現在すすめられているICANN・IANAから地域インターネットレジストリ(RIR)へのIPv6アドレス割振り方針の承認作業の進捗を含めたASO/NROの活動全般について説明。
- ・ ICANNから地域インターネットレジストリ(RIR)へのIPv6アドレス割振り方針について、今後「final call for comments」において、ICANN理事会からGACに対し意見が求められる予定。



4 . 米国政府意見募集

米国政府意見募集 (ICANN-DoC MoU)

- 米政府が現在行っているMoU延長についての意見募集について、米国から
 - 米政府はインターネット資源管理の「private sector self regulation」を強くサポート。インターネットのセキュリティと安定的運用にコミット
 - インターネットの長期的安定運用の観点から各国のインプットを期待する旨表明。
- ブラジルからインターネット資源管理に各国が平等にかかわることが重要であること、シンガポールから途上国の参加が重要である旨意見が述べられた。



5 . GAC議長選挙

GAC議長選挙

- GAC議長について、現議長(シャリル・タルミジ氏、マレーシア)が本年度で任期切れる。
- GAC副議長について、本年度で任期の切れる3名を選出予定。
- 次回までに候補者の推薦・選挙(電子メール等により)を実施し、次回会合で選出予定。